

東京石桜同窓会（会長・前関邦明、新 23 回生）の平成 29 年度総会・懇親会＝東京石桜同窓会のつどい＝（実行委員長・武田範夫、新 24 回生）が 10 月 7 日、東京・上野の「上野精養軒」で盛大に開催されました。この日は心配された雨も早々と上がり、快適な気候のなか、若手の飛び入り参加も含め約 50 人の同窓生が会場に駆け付けてくれました。

今回は第 1 部が今年の岩手国体開幕式で復興ソングを熱唱したテノール歌手、柴田泰孝さん（新 52 回生）のコンサート、第 2 部が総会・懇親会という構成で行われました。第 1 部の柴田さんのコンサートでは、柴田さんが得意とするオペラやミュージカルの有名ナンバーやスタンダードナンバー、さだまさしさん作曲の復興ソング「ふるさとの風」などを 50 分間にわたり、全力で歌い上げました。同窓生の前とはいえ手抜きすることなく、歌い終わると息を切らせ、額に汗を光らせていたのが印象的でした。曲間にはトークを挟み、「私の経歴は岩手県、岩手郡、岩手町出身、岩手高校卒業と岩手が 4 つも並ぶ～」と会場を笑いに包みました。また、会場に用意した 2 種類の CD アルバムは次々に売れ、ほとんど完売状態。それだけ本場イタリアで学び、歌唱力に磨きをかけた柴田さんの高い実力を見せつけたと言えます。

休憩を挟んだ第 2 部ではこの一年間に逝去した同窓生に黙祷を捧げたのち、上野英夫副会長（新 20 回生）が開式の辞、会計・事業報告を行い、全会一致で了承を得ました。続いて前関邦明会長が挨拶し、来賓の挨拶に移りました。最初に今回も多忙のなかを出席いただいた岩手奨学会の三田義之理事長が壇上に立ち、9 年後の 100 周年に向けこれからも OB の皆様の協力をお願いしたい旨の考えを示しました。さらに、母校の村井伸吾校長、石桜同窓会の村井紀之会長（新 18 回生）が挨拶し、千葉勝之さん（新 10 回生）の音頭で乾杯し懇親会に入りました。

懇親会は上野精養軒 2 階の宴会場に 5 つの大型丸テーブルを並べ、毎回、所定の席は決められているものの自由に席を移動できる形式で行われます。それだけに懇親会に入るとすぐに思い出話や笑い声が会場に響き渡ります。伝統ある私立の男子校だけがもつ独特の雰囲気なのかもしれません。

懇親会では同窓会担当の中山泰志先生（新 39 回生）とともに出席いただいた将棋部顧問の藤原隆史先生（新 42 回生）から、全国から注目を集める岩高将棋部の強さの秘密の一端などを披露していただきました。NHKBS 放送で取り上げられたように岩高将棋部の強さは折り紙付き。これに伴って藤原先生も多忙を極めているとのことで、今後も将棋部は大いなる活躍を通じ、本校の名前を高めてくれそうです。この後、この夏、石桜同窓会会長を退いた小枝指博さん（新 9 回生）がマイクを握り、長きにわたり会長を務めていた頃の思い出などをしみじみと語り、大きな拍手を浴びました。

最後は小原政憲さん（新 20 回生）のリードによる恒例の校歌斉唱、続いて佐藤忠男さん（新 12 回生）の音頭による万歳三唱と続き、藤原文夫副会長（新 22 回生）の閉式の辞で幕を閉じました。（文責 武田範夫）